事業報告書

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

公益財団法人教育支援グローバル基金

【主要な事業の成果】

公益財団法人教育支援グローバル基金は、2025 年 4 月から 2026 年 3 月に、日本全国の高校生、大学生を対象とした人材育成事業「ビヨンドトゥモロー」を開催した。

(1) 奨学金事業

1. エンデバー2025：
   児童養護施設などの社会的養護の施設および里親家庭に暮らす高校生 を対象とし、進学準備に際する費用（センター試験受験料、入学検定料など）を年間上限 10 万円の給付型の奨学金として支給する事業を実施した。支給総額は 352,000 円

2. ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2025：
   親との死別・離別を経験している、児童養護施設・里親家庭・生活保護受給世帯に暮らしている、などの困難を経験しながらも、高校卒業後に進学し、社会の力となるべく研鑽を積むことを志す若者たちこそ、今後、人の心の痛みに想いを馳せ、世界や日本のために行動するリーダーになる資質を有しているという理念の下、進学のための奨学金（返済不要）年間　50　万円を給付。モルガンルイス・バッキアス法律事務所からのプロボノ協力の下、応募要件（保護者が死亡、単親家庭である、児童養護施設に暮らしている、里親家庭に暮らしている、生活保護受給世帯に暮らしている、のいずれか）を満たしていることの確認を法的書類によって行った。支給総額は 5,750,000 円。

3. インターンシップ・プログラム 2025：
   上記　2. のジャパン未来スカラーシップ・プログラムを過年度に修了した者で、継続してビヨンドトゥモローの活動に参加することを希望する者を対象に、年間を通じて各種リーダーシップ・プログラムへの参加機会の提供や、キャリア構築にむけた実践的スキル構築のためのサポートを行う「インターンシップ・プログラム」を実施した。

※上記事業の実施以外に、2025 年度の奨学金事業の告知・選考活動を 2024 年度に行った。

(2) 人材育成（リーダーシップ・プログラム）事業

2025 年度においても、昨年度同様、オンライン・プログラムと対面型プログラムのハイブリッドで人材育成プログラムを実施し、高い頻度で仲間同士の交流や学びの機会を提供することができた。年度初めのオリエンテーション・プログラムや夏のサマー・プログラムを対面で開催したほか、奨学生以外の高校生も参加可能な『ジャパン未来リーダーズ・サミット』を実施。オンラインプログラムでは企業協賛による特定のスキルや知識の習得を目的としたプログラムを行い、年度末の対面プログラムでは、翌年の奨学生との合同プログラムを実施した。

1. スプリング・プログラム　2025 年 3 月 25 ～ 27 日（東京都）

1 年間にわたる奨学金事業に参加した高校生・大学生たちが、一年間のプログラムの集大成となる年度末プログラムを 24 年度の奨学生と合同で開催。2024 年度および 2025 年度に開催する年間プログラムに在籍する学生たちが一堂に会し、ビヨンドトゥモローでの活動について理解を深めたり、ビヨンド トゥモローでの経験をいかにその後の人生に活かすことができるかについて考えたりする卒業生とのセッションも開催した。

2. オンライン・プログラム　2025 年 6 月 24 日

25 年度のエンデバー 、ジャパン未来スカラーシップ・プログラム、インターンシップ・プログラム参加者を対象とし、ハッシャダイソーシャル共同代表 三浦 宗一郎をスピーカーに迎え、『「誰一人取り残さない社会へ」ー社会に壁を感じる人々への声掛けを考えようー』をテーマに開催した。

3. サマー・リトリート 2025　2025 年 8 月 20 日～23 日（埼玉県および東京都）

25 年度のエンデバーおよび 25 年度ジャパン未来スカラーシップ 参加者を対象に、埼玉県および東京都にて、『「なりたい自分」を探す・深める』をテーマに実施した。埼玉県では、自然体験の中で自分と向き合いつつ、仲間と共に議論する中で「なりたい自分」について考えを深めたあと、東京都では、Kikos、ソニーミュージック、LINE ヤフーなどの協力を得て企業研修の機会を持ち、ビヨンドトゥモロー卒業生との進路懇談会を開催した。最終日には、発表会を開催し、各界からのゲストの前で、プログラムでの学びや将来に向けた意見表明を行い、スピーカーとした登壇した一般社団法人コンパスナビ代表理事のブローハン聡氏をはじめゲストの代表から各学生の発表に対して講評を得た。

4. 海外研修 米国サマー・プログラム 2025～村瀬二郎奨学金事業　2025 年 9 月 6 日～14 日　（ニューヨーク、ワシントン D.C.）

「人と人を繋ぐリーダーとは？ -今私たちにできること-」をテーマに実施。25 年度～23 年度の奨学生から選抜された 10 名が参加。山田駐米日本大使、中満国連事務次長、ジョン・サリバン元米国務次官補などのリーダーとの対話、コロンビア大学やジョージタウン大学の大学生また現地高校生との意見交換、9.11 メモリアルミュージアムの視察と被害者の方との交流、エスティ―ローダー社訪問、配食サービスのボランティア体験など多くの出会いを刻み、最終日には、約 70 名のゲストを前に、班ごとにプレゼンテーションを英語で行い、著名なエコノミストであるポール・シェアード氏から講評と講演があった。

5. ジャパン未来リーダーズ・サミット 2025　　2025 年 10 月 3 日 ～ 5 日（東京都）

親との死別・離別や、児童養護施設で生活しているなど、様々な事情により機会を得ることが難しい状況にありながらも、広く社会のために役立つ人材となる志をもつ全国の高校生・大学生を対象に、本サミットでは、多様な領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、『「18 歳からの自立」に必要なこと～「助けて」の声をあげる・届けるために～』をテーマに、提言をグループ毎にまとめ、最終日には政治・行政・ビジネス・メディア・NGO　など各方面のリーダーたちの前で発表する機会を提供。今年度は、25 年度エンデバー、同ジャパン未来スカラーシップ、同インターンおよび全国から選抜された高校生、合せて 53 名が参加し、「体験共有」（ビヨンドナイト）を通じて相互理解を深め、テーマについて社会人メンターと共に濃密なディスカッションを各班で行い、発表会に向けて提言作成をまとめあげ、その成果を最終日の閉会式で発表した。また、期間中の 2 日目には、元 ソニー 社長兼 CEO / 一般社団法人プロジェクト希望 代表理事の平井一夫氏の講演会を開催し、活発な質疑応答も行われた。

6. クロージング・プログラム 2055　　2026 年 3 月 15 ～ 16 日（神奈川県）

1 年間にわたる奨学金事業に参加した高校生・大学生たちが、一年間の学びの集大成となる年度末プログラムを開催。この 1 年間の経験を振り返るだけで終わらせず、これからの人生で“選び続けていく自分”を言葉にし、行動へとつなげることを目的に対話セッションやアクティビティを実施した。また、一橋大学名誉教授の石倉洋子氏および社会で活躍するビヨンドトゥモロー卒業生をゲストに迎え、激動する社会で大切なリーダーとしてのマインドについて考察を行った。閉会式には、班ごとにプレゼンテーションを実施した。

（年間奨学事業）

事業名	対象者	実施内容	人数	支出額（円）
エンデバー2025	児童養護施設などの社会的養護の施設に暮らしている、または里親家庭に暮らしている高校生（2025 年度に 2 年次、 3 年次に在籍）	全国を対象とした告知により公募を行い、書類選考、面接選考により、25 年度の参加者の選抜を実施	11 名	¥1,644,796
ジャパン未来 スカラーシップ・プログラム 2025	2025 年度に、大学・短大・専門学校に新たに進学する者で、及び、下記条件のいずれかを満たす者。 ・保護者が死亡 ・単親家庭である ・児童養護施設などの社会的養護の施設に暮らしている ・里親家庭に暮らしている ・生活保護受給世帯に暮らしている	全国を対象とした告知を行い、書類選考、面接選考により、 2025 年度の参加者の選抜を実施	12 名	¥7,223,606

（リーダーシップ・プログラム事業）

事業名	日時	開催場所	対象者	人数	内容	支出額（円）
スプリング・プログラム	2023 年 3 月 25 日～27 日	東京都	エンデバー2025、2024 ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2025、2024 インターンシップ・プログラム 2025、2024	48 名	1 年間にわたる奨学金事業に参加した高校生・大学生たちが、一年間のプログラムの集大成となる年度末プログラムを 24 年度の奨学生と合同で開催。2024 年度および 2025 年度に開催する年間プログラムに在籍する学生たちが一堂に会し、ビヨンドトゥモローでの活動について理解を深めたり、ビヨンド トゥモローでの経験をいかにその後の人生に活かすことができるかについて考えたりする卒業生とのセッションも開催した。	¥3,964,137

オンライン・プログラム	2025年6月24日	-	エンデバー2025 ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2025 インターン 2025	19名	25年度のエンデバー 、ジャパン未来スカラーシップ・プログラム、インターンシップ・プログラム参加者を対象とし、ハッシャダイソーシャル共同代表 三浦 宗一郎をスピーカーに迎え、『「誰一人取り残さない社会へ」ー社会に壁を感じる人々への声掛けを考えようー』をテーマに開催した。	-
サマー・リトリート	2025 年 8 月 20日～ 23 日	埼玉県 東京都	エンデバー2025 ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2025 インターン 2025	19名	25 年度のエンデバーおよび 25 年度ジャパン未来スカラーシップ 参加者を対象に、埼玉県および東京都にて、『「なりたい自分」を探す・深める』をテーマに実施した。自然の中で、自分自身や仲間との対話を深めたほか、企業研修の機会を持ち、ビヨンドトゥモロー卒業生との進路懇談会を開催した。最終日には、発表会を開催した。	¥3,935,034
海外研修 米国サマー・プログラム	2025年9月6日～14日	米国・ニューヨーク、ワシントン D.C.	ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2025 ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2024 ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2023	10名	「人と人を繋ぐリーダーとは？ -今私たちにできること-」をテーマに実施。駐米日本大使、国連事務次長、元米国務次官補などのリーダーとの対話、コロンビア大学やジョージタウン大学の大学生また現地高校生との意見交換、9.11 メモリアルミュージアムの視察と被害者の方との交流、配食サービスのボランティア体験など多くの出会いを刻み、最終日には、約 70 名のゲストを前に、班ごとにプレゼンテーションを英語で行った。	¥10,141,575

ジャパン未来リーダーズ・サミット 2025	2025 年 10月 11 日～13 日	東京都	親との死別・離別や、児童養護施設で生活している全国の高校生 ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2025、エンデバー2025、インターン 2025	53 名	年間奨学生に加え、全国の高校生と共に、社会の課題に対し逆境を抱えた若者だからこそ発信できることやアクションを考えるための 3 日間の学びのプログラム。「体験共有」「スピーカーセッション」「ディスカッション」「提言作成」など通じて、幅広い領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、社会の分断をなくしていくために必要な施策について提言をまとめ、最終日の閉会式で発表した。	¥7,009,090
クロージング・プログラム 2025	2026 年 3 月 15 日～16 日	神奈川県	エンデバー2025 ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2025 インターンシップ 2025	25 名	1 年間にわたる奨学金事業に参加した高校生・大学生たちがこの 1 年間の経験を振り返るだけで終わらせず、これからの人生で“選び続けていく自分”を言葉にし、行動へとつなげることを主眼に、ビヨンド一年間の学びの集大成となる年度末プログラムを開催した。	￥2,370,094

【法人の運営体制の充実を図るための取組】

1. 取組内容
年間奨学生を対象に、プログラム参加前後における意識や行動の変化を把握し、人材育成プログラムの有効性を検証するとともに、今後の事業改善及び運営体制の充実に活用することを目的として実施した。

2. 実施体制
事務局が中心となり、年間奨学生を対象として、プログラム開始前及び終了後にアンケート調査を実施した。調査結果については事務局内で分析・検討を行い、今後のプログラム内容の改善及び事業運営に反映する体制を整えた。

3. 実施時期
年間奨学生を対象にプログラム開始前及びプログラム終了後の 2 回、アンケート調査を実施。

４．効果
調査により、奨学生の意識や行動の変化を定量的・定性的に把握することができた。得られた結果は今後の人材育成プログラムの企画・改善に活用するとともに、活動ハイライト等を通じて公表することで、事業の透明性向上及び説明責任の充実につなげることが期待される。